

## 一般質問

(2～5ページ中段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は23人30件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

## 分倍河原駅周辺地区における今後のまちづくりの方向性は

## 市内の重要な拠点として活力のあるまちの実現を目指したい

りの方向性を聞きたい。  
市長 これまでもまちづくり協議会や市民の皆さんから意見をいただきながら、駅舎の利便性・安全性の向上を初め、駅南北の公共・公益施設整備や商業施設の誘致、商店街振興、狭あい道路解消などに取り組んできた。

同地区は、都市計画マスタープランにおいて地域拠点としてふさわしいまちづくりを掲げているほか、都が改定中の多摩部19都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針において、身近な地域における人々の活動や交流のため

加藤 雅大議員(市政) 分倍河原駅周辺地区では、まちづくりに取り組み始めてから市街化が急速に進展しているが、今後、市が取り組むまちづく



▲分倍河原駅周辺の商店街

め、生活中心地として新たに位置付けられる予定である。  
市としても、今後も更なる発展が期待される地域と捉え、市内の重要な拠点として、市民との協働によりにぎわいと活力のあるまちの実現を目指していきたい。

## 府中駅周辺中心市街地の活性化に対する市の考え方は

## 総合的なまちづくりプランを検討していきたいと考えている

村木 茂議員(市政) 府中駅周辺中心市街地の活性化に対する市の考え方を聞きたい。  
市長 まちづくりの核をなす再開発事業が終盤を迎えており、その成果は単なる市街地の整備にとどまらず今後20年、30年先を見据えたまちの活性化の基軸となるものと認識している。そのため、これまで

培ってきたまちのソフト、ハードの全てを有効活用しつつ、今後、当該地域で予定されている公共施設等の再編、庁舎建設、道路基盤の拡充のほか、府中本町駅周辺のまちづくりも含め、まちの活性化という共通目標を掲げ推進することが肝要であると捉えている。まちづくり担当参事 現在、

## 地区社会福祉協議会の可能性についての考えは

## セーフティーネットワークの充実を図ることが可能と考えている

きずなが薄れていく中、住民相互の支え合いを推進していくことを目的に、地域の中で住民等が課題を共有し、解決していくための組織を構築する取組である。  
議員 西原町で行われている見守りに係る取組の状況は。福祉保健部長 西原町では20

年程前に民生委員等を中心にネットワークを組織し、週1回、趣味活動等を行っている。また、役員が定期的に見守り活動を行っており、望ましい形態の一つと考えている。  
議員 西原町の取組は孤独死を出さないために始められた

## 四谷さくら公園の拡張整備で防災機能と集会機能を伴う施設の設置についての考えは

## 関係法令等に照らし合わせ検討していきたいと考えている

山 上 稔議員(市フォ) 全国的に進められている、地区社会福祉協議会(地区社協)の目的や内容について聞きたい。  
福祉保健部長 家族や地域の

市川 一徳議員(市政) 四谷さくら公園の拡張整備に関しては、これまで、市内南西部地域において防災拠点としての機能を備えた公園となるよう要望してきたが、市民からはどのような要望があるか聞きたい。

では、防火水槽やかまどベンチなど防災設備の設置とあわせ、定期的な防災訓練、炊き出し訓練などができる拠点づくりの要望や公園管理施設の機能を備えた集会所を伴う防災施設の設置についての要望があった。

議員 防災機能と地域コミュニティの形成のための集会機能を伴った公園管理施設の設置について、市はどのように考えているか。

都市整備部長 関係法令等に照らし合わせ、公園管理、地域コミュニティ、防災機能の観点からどのような施設が望ましいか、関係課等とも連携し、検討していきたいと考えている。

※エリアマネジメント…良好な環境や地域価値の維持・向上に向けた住民・企業等による主体的な取組

と聞くが、地区社協の取組における可能性について、市はどのように考えているか。  
福祉保健部長 住民主体のまちづくりを推進することにより、地域生活を支えるセーフティーネットワークの充実を図ることが可能と考えている。

## けやき並木のにぎわい等に向けたエリアマネジメント組織の動きを市はどのように捉えているか

## 極めて重要であり大変有意義な取組と捉えている

石川 明男議員(市政) けやき並木周辺のにぎわいを強化し、市内各地域に広げることや地域が主体的にけやき並木

の保護・管理することを目指し、平成26年8月にエリアマネジメント組織「L♡VEふちゅう賑わい創出委員会」が設立された。市民協働のまちづくりの推進という意味でも、市の積極的な後押しを期待するが、こうした地域の動きをどのように捉えているか。



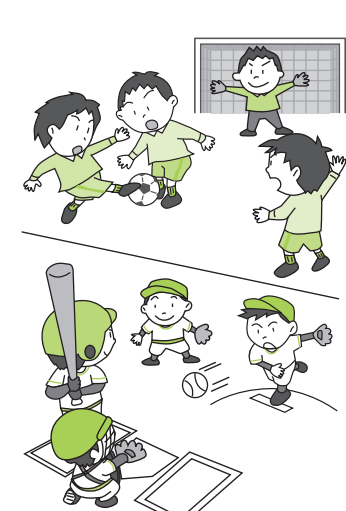
▲府中マルシェでにぎわうけやき並木

## ジュニアスポーツの強化のため補助金の増を検討してはどうか

## 支援は重要と考えており補助金を最大限確保できるように努めているところである

手塚 歳久議員(市フォ) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しているが、府中から出場できる選手が増えれば更に盛り上がると思う。そのような中、市民からもジュニアスポーツの強化に一層力を注ぐべきではないかという声がある。

その一方で、市のジュニアスポーツ団体に対して●農業振興について



市は、平成26年8月にエリアマネジメント組織「L♡VEふちゅう賑わい創出委員会」が設立された。市民協働のまちづくりの推進という意味でも、市の積極的な後押しを期待するが、こうした地域の動きをどのように捉えているか。

市は、平成26年8月にエリアマネジメント組織「L♡VEふちゅう賑わい創出委員会」が設立された。市民協働のまちづくりの推進という意味でも、市の積極的な後押しを期待するが、こうした地域の動きをどのように捉えているか。